

犬ヘモプラズマ (*Mycoplasma haemocanis*)

★検査材料は遺伝子専用としてお送りください。遺伝子以外の項目と重複している場合は必ず遺伝子用に材料を分けてください。

項目名	検査材料	送付方法	所要日数	検査方法	検査項目の説明、注意事項
犬ヘモプラズマ遺伝子★	 全血 (EDTA 処理) 0.4mL	 常温  冷蔵	4日以内	PCR	<ol style="list-style-type: none"> 1. パベシアと同様に重要な貧血因子である犬ヘモプラズマ (<i>Mycoplasma haemocanis</i>) の感染を検出いたします。 2. 検査対照 (内在性コントロール) として血液中のβアクチン遺伝子の検出も同時に行います。(凝固サンプルの際に DNA の抽出が適切に実施できたかをチェックすることができます。) 3. 凝固したサンプルでは検査が実施できないことがあります。

犬ブルセラ (*Brucella canis*)

項目名	検査材料	送付方法	所要日数	検査方法	検査項目の説明、注意事項
犬ブルセラ抗体	 血清 (血漿) 0.1mL	 常温  冷蔵	4日以内	MA	<ol style="list-style-type: none"> 1. MA 法では溶血サンプルは主にヘモグロビンにより非特異凝集が起こり、偽陽性の原因 (抗体陰性の場合でも陽性の結果となる) となることがあります。ヘモグロビン量が 0.5g/dL 以上の場合、偽陽性の可能性があることが判明しています。
犬ブルセラ抗体 (10 検体以上)	 血清 (血漿) 0.05mL	 常温  冷蔵	5日以内	ELISA	<ol style="list-style-type: none"> 1. 10 サンプルからお受けします。多頭飼育環境 (ブリーダー) でのスクリーニング検査に適しています。 2. 一度に依頼されるサンプル数が増えるに従って 1 サンプルあたりの検査料金がお安くなります (料金表をご参照ください)。 3. 若干の溶血サンプルでも検査が可能です。

レプトスピラ (*Leptospira spp.*)

★検査材料は遺伝子専用としてお送りください。遺伝子以外の項目と重複している場合は必ず遺伝子用に材料を分けてください。

項目名	検査材料	送付方法	所要日数	検査方法	検査項目の説明、注意事項
レプトスピラ遺伝子★	 尿 1mL  全血 (EDTA 処理) 0.4mL	 常温  冷蔵	5日以内	PCR	<ol style="list-style-type: none"> 1. レプトスピラの感染を高感度に検出します。 2. 血液中と尿中からのレプトスピラの検出時期は必ずしも一致していません。急性期 (発症時) の場合は全血材料、慢性期の場合は尿材料が適当です。 3. 本検査ではレプトスピラの血清型を区別することはできません。

犬糸状虫 / 犬フィラリア (*Dirofilaria immitis*)

★検査材料は遺伝子専用としてお送りください。遺伝子以外の項目と重複している場合は必ず遺伝子用に材料を分けてください。

項目名	検査材料	送付方法	所要日数	検査方法	検査項目の説明、注意事項
犬糸状虫抗原	 血清 (血漿) 0.2mL	 冷蔵	2日以内	IC	
犬糸状虫遺伝子★	 全血 (EDTA 処理) 0.4mL	 常温  冷蔵	5日以内	PCR	<ol style="list-style-type: none"> 1. 遺伝子検査は EDTA 全血でお送りください。血清や血漿でも検査は可能ですが感度がかなり下がりますので好ましくありません。